

平成 28 年度 社会福祉法人 月形町社会福祉協議会事業報告

概 況

少子・高齢化や社会的孤立、経済的貧困が進み、福祉ニーズの変化・多様化へ対応が求められる中、地域福祉推進を主体的に行っている当社協は、地域福祉実践計画の基本目標である「まんまるは一とで共に支えあう安心・安全福祉のまちづくり」に向けて、多方面にわたる福祉の課題解決を各関係機関、各種団体や地域住民と連携・協働を図ってまいりました。

平成 28 年度は、介護保険改正による介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、地域の様々な資源を活用しながら主体的にサービスに参画できるしくみ作りについて考え、地域共生社会に向けた取り組みを行いました。また、引き続き地域住民とのつながり、地域支えあいの仕組みづくりについて、「地域見守り推進事業」や「ふれあいサロン」を中心とした小地域福祉活動を実施し、住民主体による地域福祉実践活動や柔軟な福祉サービスの提供等が展開されました。福祉総合相談や生活福祉資金貸付、日常生活自立支援事業についても関係機関との連携により事業展開を進めてまいりました。

29 年 4 月の改正社会福祉法に向けた準備、第 2 期地域福祉実践計画策定においても、次年度以降に向けた事業の取り組みをしてまいりました。

1 重点事業の実施状況

(1) 多様な地域福祉活動の推進については、見守り、サロン、ボランティア等の事業の展開によって地域に潜在している生活課題の発見やニーズについて、福祉活動専門員を中心に訪問活動を行いながら行政、関係団体、住民と連携・協力を得ながら解決に向けて努めてまいりました。

(2) 生活支援活動と相談・支援体制の強化については、身近な地域で福祉の悩みごと等を相談できる総合相談や権利擁護事業について、住民周知等を引き続き実施しました。そのことにより、制度だけでは対応が難しい方々や低所得者支援を必要とする方々の発見に繋がり、問題解決に向けて貸付制度の活用や就労支援等関係団体との連携を行いました。

福祉サービスについては、訪問介護事業・障がい者地域活動支援センター事業に取り組み要介護者及び要支援者等に対して支援サービスの充実を図ってまいりましたが、利用者減員により、事業運営は苦しいものとなりました。「生活支援サービス」の実施につ

いては、介護保険制度の改正等ありましたが、利用者利用には繋がりませんでした。介護予防・日常生活支援総合事業への改正については、生活支援協議会の設立、高齢者のニーズ調査等を行い、関係機関・団体と積極的に取り組みをしました。

(3)住民参加・協働による地域福祉の推進については、ボランティア活動の推進を中心に福祉教育、福祉でまちづくりの事業を展開してまいりました。各町内会ではふれあいサロン活動が活発に行われ、住民主体による参加運営がされています。また、ボランティアリーダー育成の取り組みについても養成講座等の開催を行いました。

(4)事業経営基盤確立のための組織運営の強化については、第2期地域福祉実践計画策定に向けた策定委員会設置を住民の皆さんや関係機関の協力のもと取り組み、次年度より5年間の「あずましプラン」が策定されています。また、月形町交流センター指定管理者として管理、運営に努め、住民へのサービス向上を図ってまいりました。限られた財源の中で効率的で効果的な事業運営を図るため、専門職員の配置、事務事業の見直し等経費の節減・合理化に努め、運営充実を図ってまいりました。

2 事業実施状況

(1) 地域福祉推進事業

社会福祉協議会が行う地域福祉活動の取り組みや推進事業の情報を広く町民の皆様に紹介し地域福祉推進役としての社協役割、相談機能を確認し、各関係機関等と協力に努めました。

★ 心配ごと相談所の開設 土・日・祝祭日を除く開設

民生委員との連携のもと住民相談に努めました。

相談件数 2 件(実人数 2 名)

内容 家族に関する心配ごと

★ 総合相談

専門職による総合相談を、行政、民生委員、町内会、関係機関等と対応しました。

相談件数 10 件(実人数 10 名)

内容 生活福祉資金貸付相談、介護保険等申請、生活保護申請等

★ 社協だよりの発行

4、6、7、10、12、2月発行し、全戸に配布しました。合わせて、道社協のホームページに掲載しました。

10月よりホームページを開設し、毎月5日更新しています。

★ 生活福祉資金の貸付 貸付件数 5件(前年度-4件)

貸付者 5名(前年比-1人)／貸付額計 230,000円

★ 北海道共同募金会月形共同募金委員会への協力

各行政区、町内会、学校、ボランティア団体の協力により募金活動に努めました。

28年度より月形町キャラクターベルデくんのピンバッチを作成し、地域のイベントへも積極的に出向き募金活動を実施しました。

(2) 福祉振興事業

在宅生活に向けた様々な生活支援や相談について、積極的に情報提供・支援を行いました。

★ 在宅寝たきり老人等日常生活用品助成事業（おむつ代助成）

助成実人数 28名(前年比-2人) 148件(前年比0件)

新規10名(前年比+3)

★ 高齢者、障害者等危険個所の除雪「福祉除雪」サービス事業

認定世帯 22世帯(前年比-16)

実施世帯 3世帯(前年比-6) 実施件数 13件(前年比-32)

新規2名(前年比-13)

★ 寝たきり老人等入浴事業利用促進

利用件数、相談等 なし

★ 団体助成等への協力

月形町遺族会、月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会の事務を担当し事業の推進に努めました。また、月形町遺族会、月形町老人クラブ連合会空知双葉里親会へ事業補助金助成を行いました。

★ ふれあいいきいきサロン事業

企画、実施等について、町内会、ボランティア、民生委員協力のもと行いました。

(1)ふれあいどようび

在宅障がい者の方々に呼びかけし定期的にも実施。ウォーキング、昼食会等を行いました。 18回実施 延べ参加人数 211名

(2)市北6サロン

市北6町内会の高齢者を中心に買い物バスツアー、講話、茶話会、昼食会等を実施しました。 12回実施 延べ参加人数 143名

(3)北農場1サロン

北農場1町内会の高齢者を中心に体操、レクリエーション、講話、昼食会等を実施しました。 11回実施 延べ参加人数 261名

(4)中和ふれあいサロン

万年青会老人クラブ、新田・月ヶ岡婦人部の方々が中心となり、お茶会、レクリエーションを実施しました。 2月20日実施 25名参加

(5)赤川1ふれあいサロン

赤川1町内会の高齢者を中心にレクリエーション、見学バスツアー、講話、昼食会や茶話会等実施しました。 11回実施 延べ参加人数 245名

(6)赤川3ふれあいサロン

赤川3町内会の高齢者を中心にレクリエーション、講話、昼食会や茶話会等実施しました。 9回実施 延べ参加人数 147名

(7)市南サロン

市南町内会の高齢者を中心に、レクリエーション、バスツアー、茶話会等実施しました。 9回実施 延べ参加人数 115名

(8)まんまるカフェ

子育てサロンまんまるひろばでの交流事業の参加や、事業協力、新たにカフェを実施しました。 5回実施 延べ参加人数 138名

(9)男の料理教室

高齢者、若者男性に向けた調理と、栄養面を中心とした料理教室の実施をし

ました。 5回実施 延べ参加人数 42名

★ ひとり暮らし等高齢者の配食サービス事業（週3回実施）

対象者 23名(前年比-1名) 配食日数 155日

延べ配食数 2,272食(前年比-312) 新規申請 3名(前年比-7)

配食便り 毎月1回発行

ふれあい昼食会 3回実施 行事弁当 5回実施

★ 福祉有償運送事業

要介護、支援者の町内へ通院、買い物等による福祉車両での輸送や障害者への町外への通院、移動支援を行いました。

登録実者数 119人(前年比+24人)、延べ運行回数 557回(前年比-44回)

★ 日常生活自立支援事業

道社協からの委託を受け、相談対応や申請、関係機関との調整等を行いました。

継続利用者 3名 利用件数延べ 48回

生活支援員 2名

相談件数 なし

(3) 在宅福祉サービス事業

介護保険、障害者総合支援法のもと要支援者への身体介護、家事支援、通院介護等利用者ニーズに配慮した人員体制をつくり、介護や支援強化に努めてまいりました。今年度より介護保険では訪問介護事業が市町村の総合事業に変わり、利用体制や報酬等の変動はありませんでしたが、昨年度以上に高齢者、障がい者の利用者数が減少しました。より良いサービスを目指し事業所内・外研修会への全職員参加や、関係サービス機関との連携を図ってまいりました。また、生活支援サービスについては、広報やニーズ発掘等に努めましたが、利用者はない状況となっています。生活支援コーディネーター配置については、買い物支援のニーズ調査や生活支援協議会設立等包括支援センターや関係機関と連携し事業を進めてまいりました。

★ 訪問介護事業

(1) 高齢者

ケース人員 介護 6名 延べ件数 506回
総合事業 11名 延べ件数 733回

(2)障がい者

ケース人員 居宅介護 12名(前年比-1名) 延べ件数 1,658回(前年比+126回)
移動支援事業 5名 延べ件数 56回

★ 障がい者地域活動支援センター

地域で生活をする障がい者に様々な活動体験を通し、生きがいや生活の質向上につなげるサービスを提供しました。加齢による心身面での機能低下や、自閉症等支援でより介助を必要とする利用者が多い中、職員2名を配置し専門知識の向上と活動内容の工夫を行いました。近隣の新篠津村・浦臼町も事業実施範囲のため、他町村からの家族相談や利用について連携支援体制を取りました。また、活動や昼食提供には定期的なボランティアの参加があり、地域社会との交流を深めてまいりました。今年度は、入院や施設入所の利用者が多く利用回数が減少となっています。

- ・契約人数 9名
- ・延べ利用人数 1,087人(前年比-185人)
- ・入浴延人数 652人(任意選択事業)(前年比-80人)
- ・送迎延人数 1,087人(任意選択事業)(前年比-183人)

★ 生活支援サービス

- ・相談件数 3件
- ・利用申し込み 2世帯
- ・サービス利用 なし

★ 生活支援コーディネーター活動事業

- ・アクティブボランティア養成研修 5回実施
- ・買い物支援アンケート調査実施
- ・高齢者等生活支援協議会前学習会 9回実施
- ・生活支援協議会 4回実施
- ・あずまし茶屋開催 1回開催

(4) 地域活動推進事業

ボランティアネットワーク作りの強化、資質向上を目指し、様々なボランティア活動への協力や紹介を行いました。また、地域福祉の住民ニーズについては、福祉ネットワーク協議会や研修等の開催しました。

★ ボランティアセンター運営事業

住民によるボランティア活動の推進を行い、個人ボランティア登録、団体、関係機関へのセンター活動の周知やコーディネートを行いました。

センター運営会議 1回

広報発行 3月 全戸配布

研修会参加 3回 12名参加

研修会開催 ボランティアスクール(9・2月実施) 89名参加

ボランティアミーティング 27名参加

その他 ボランティアセンター祭り 100名参加

年越し弁当贈呈事業(歳末たすけあい助成)

ボランティア依頼等の紹介 10件

★ ボランティア団体への育成及び活動促進

活動団体への活動助成

2団体へ補助金助成、5団体へ老人世帯除雪援助事業の交付等を行いました。

学童・生徒のボランティア活動普及事業への協力

月形小・中学校生総合学習実施、月形高校職業体験協力、研修会等の情報提供を行いました。

★ 民生・児童委員・行政区長、町内会との連携強化

民生児童委員協議会の参加

各行政区・団体への地域状況把握

★ 地域福祉ネットワーク推進協議会事業

推進会議 4回 事業計画策定、情報交換

研修等 新任研修会 2回実施 (30名参加)

推進委員視察研修 妹背牛町社会福祉協議会視察(11名参加)

世代間交流事業 3回実施 (229名参加)

★地域見守り推進事業

見守り実施状況

対象者 78名 見守り回数 訪問 1,136回、電話 196回

情報 141件

サポーター 14名(46名担当)

研修状況

サポーター意見交換会 4回

研修会参加 3回

研修開催 「月形町福祉でまちづくり推進フォーラム」69名出席

(5) 社会福祉協議会の充実と財政基盤の強化

正副会長会議、理事会、評議員会を開催し組織、並びに事務局体制の充実に努めました。職員については、毎月所内の研修実施、所外研修、新任研修等に積極的に参加し、知識向上に努めました。今年度は、社会福祉法改準備や第二期地域福祉実践計画策定について住民や関係機関協力のもと進めてまいりました。また、今年度も道のキャリアパス事業を受け、町内福祉職員の育成や、研修への取組みを図りました。

★ 評議員会、理事会、事務局体制の強化

会議開催状況

理事会 6回

評議員会 3回

定期監査 4回

決算監査 1回

正副会長会議 3回

★ 役職員の研修及び調査活動

8月 地域の絆と支え合い活動空知地区セミナー 役員4名参加

- 10月 地域に理解され支持される社協づくり研修会 役員2名参加
11月 北海道社会福祉協議会主催 法人役員専門研修 役員3名参加
11月 空知管内社協介護保険学習会 役員2名参加

★ 関係機関、福祉団体との連携促進強化

行政区、町内福祉施設との連携を図り、会議への参加をしました。

★ 地域福祉実践計画実施に伴う住民懇談会の開催

計画実施をするとともに、第2期策定へ向けて策定委員会を設置し、新たなニーズや今後の社協役割についての調査、聞き取りを行政区長・関係団体へ出向き住民座談会の開催しました。

- ・第二期地域福祉実践計画策定委員会 5回実施
- ・町民ニーズ調査、福祉関係事業所聞き取り調査実施
- ・住民座談会の開催 4箇所実施

★ 交流センター指定管理

年間利用者数 14,529名(前年比+3,213名) 年間利用回数 893回(前年比+58回)
葬儀、法事等 43件(前年比+9回)

職員の状況

平成29年3月31日付退職

地域活動支援センター支援員(嘱託職員) 山田洋子